



企業・行政・消費者をつなぐ

No. 146

NACS 九州支部会報 JANUARY 2025

発行 2025年1月

新年のごあいさつ	…01
見学会・事業報告	…01～03
ペンリレー	… … … 04
インフォメーション	… … 05・06

新年のごあいさつ(林支部長)



謹んで新年のご挨拶を申しげます。平素よりNACSの活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年2024年は、多くの消費者問題が浮き彫りとなった一年でした。相次ぐ自然災害に乗じた詐欺、健康を増進するためのサプリメントによる死亡事故など、私たちの生活基盤を揺るがす多くの課題が浮上しました。これらの問題に対し、NACSは様々な啓発活動やセミナーを通じ、消費者の皆様に正しい情報と知識を提供し、信頼ある消費市場形成のために行政や事業者団体と連携した活動を展開してまいりました。

2025年は昨年の取り組みをさらに強化し、消費者が安全にかつ安心して生活できる社会を目指し、デジタル時代における消費者の情報リテラシーの向上や、持続可能な消費行動の推進を重点課題とした活動を展開してまいります。また、消費者の脆弱性を踏まえた規制やガイドラインの強化についても、引き続き啓発活動を行っていく所存です。

本年1月は鹿児島での標準化市民セミナー、2月は福岡市で対面にて相続トラブル回避の学習交流会、オンライン公開講座「消費者が身につけたいサイエンス・リテラシー2」で活動をスタートしてまいります。実施中の標準化実行委員によるタネ撒きアンケートにもぜひご協力ください。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

NACS理事 九州支部長 林 真実

九電みらいエナジーハ丁原地熱発電所見学会＆日田豆田町

2024年9月29日(日)に『フォーラム・エネルギーを考える』(ETT)の協賛で、大分県九重町にある九州電力みらいエナジーハ丁原発電所見学に行ってきました。

ハ丁原発電所は日本最大規模の地熱発電所で、ここだけで約20万世帯の消費電力を賄うことができるそうです。

見学会の参加者は11名で、そのうち4名がNACS非会員でした。NACS非会員の方については、NPO法人熊本消費者協会のご協力により、熊本から3名(いずれも消費生活アドバイザーや消費生活相談員の有資格者です)の参加がありました。

宮園 由紀代 (熊本県)



九電みらいエナジーハ丁原地熱発電所見学会&日田豆田町(つづき)

午前9時30分に博多駅に集合し、貸切バスで現地に向かいました。

最初に、映像やデジタルサイネージで地熱発電所の仕組みについて説明を受けた後、スタッフの案内で、二相流体輸送管、フラッシャー、気水分離機、冷却塔、蒸気タービン・発電機などを見学しました。

想像以上に大規模な施設で、硫黄の匂いや雄大な森林から得られる空気など、動画では感じることのできない環境がわかり、より自然と共生したエネルギーであることが理解できました。

(印象に残ったこと) *参加者の声・抜粋



- ・ 地熱発電が完全循環型の自立電源だということ。その代わり、立地面での制約が大きく規模拡大が難しいということ。
- ・ 見学者への説明や映像が大変わかりやすく構成よく構成されていて、説明がとても聴きやすかった。
- ・ 無人の中央制御室により、年中無休で運転し続けることができ、非常に機能的だと感じました。
- ・ 地熱発電はかなり特殊な場所でないと出来ないのだと再認識できた。
- ・ もっと工夫してマグマのある所では、地熱発電が出来るようにならないのか。シェールガスのように。
- ・ 冷却施設の見学です。半屋外で迫力がありました。



(3枚の写真の出所) いずれも、九電みらいエナジー株式会社様ホームページから転載

帰路は、日田豆田町に立ち寄り、羊羹を購入したり、アイスクリームを食べたりとプチ旅行となりました。

ETT協賛の見学会は、貸切バスや参加者の保険などの諸費用と運営費はETTの負担です。

博物館などに寄ることも可能なので、次回は、もう少し時間をとって、発電所見学+αの見学会を実施したいと思っているところです。



九州経済産業局連携事業 報告

NACS九州支部では、令和2年度から経済産業省九州経済産業局と連携し、信頼ある消費市場を形成するための市場関係者懇談会を開催しています。

今年度は、昨年9月24日に「消費生活の変化に伴う消費者と事業者の円滑なコミュニケーションについて」をテーマに、4機関・団体による懇談会を福岡市内で開催しましたので、概要をご報告します。

開催概要

日 時: 2024年9月24日(火) 13:30~15:30

場 所: 九州経済産業局 第2・3会議室

形 式: 対面及びオンライン(Microsoft Teams)

参加機関: 経済産業省九州経済産業局(産業部 消費経済課)

(公社) 消費者関連専門家会議九州地区部会

(公社) 日本通信販売協会

(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 九州支部



開催概要:

●講演

「消費生活の変化に伴う消費者と事業者の円滑なコミュニケーションについて」

(公社) 日本通信販売協会 理事・事務局長 三浦 千宗 氏

消費者相談室長 萩原 典明 氏



講師紹介

三浦 千宗 氏

1997年に日本通信販売協会に入局し、調査や研修の企画運営を担当。事業部課長、事業部長を経て2016年に理事、2018年から事務局長を兼任。2022年度にEC加盟店サイトセキュリティガイドライン検討委員会、2024年度にクレジット取引セキュリティ対策協議会WG委員を務める。



萩原 典明 氏

1983年4月に高島屋に入社し、本社広報室や人事部、家庭外商部、海外現地法人取締役、MD本部バイヤー、日本橋店コンシェルジュを経て、2022年4月に日本通信販売協会に入局。2023年4月から現職。消費生活アドバイザーおよび消費生活相談員資格を保有。



意見交換概要

最近の消費者相談事例をもとに意見交換が行われ、消費生活の変化に伴う消費者と事業者の円滑なコミュニケーションの重要性が再確認されました。以下、一部のトピックスを抜粋・紹介します。

◆定期購入◆

近年、定期購入に関するトラブルが増加しており、消費者が混乱しないように定期購入とお試し購入の明確な区別が求められている。一部の事業者は意図的に消費者を誤認させる表記を行い、広告事業者も関与しているケースがある。問題のある事業者に対する適切な対処が必要である。

◆後払い決済サービス◆

便利な決済方法であるが、最近では悪意のある第三者が他人の個人情報をを利用して商品を購入し、商品は詐取してその請求書だけが個人情報を利用された本人に届くケース(取り込み詐欺)が増加している。後払い決済サービスの利用を停止することは難しいため、効果的な対策の見直しが求められる。

◆詐欺的広告◆

SNSでの詐欺的広告が増加しており、消費者は留意する必要がある。特に、明らかに価格と商品が不釣り合いな広告に対しては、消費者が安易に購入しないことが重要。このような意識を醸成することで、詐欺被害を未然に防ぐことができる。

◆その他の課題◆

消費者に通信販売と対面販売の違いを正しく理解してもらうことが重要。また、事業者は商品の内容や取り扱い上の注意等、重要な事項について消費者にきちんと伝える取組が必要。

AIチャットボット等デジタル技術の導入は顧客対応の効率化に寄与している。一方、事業者は顧客対応とサイバーセキュリティの両方に苦労しているのが現状である。



資格試験 連敗中！

佐藤 尚美（宮崎県）

実は、とある資格試験に連敗中である。年1回の試験で、受けても受けても『合格』にたどり着けない。今回も惨敗であった。もうダメなのかなとさすがにあきらめモードである。

この資格試験を受験しようと思ったきっかけは、5年前に受験した『消費生活アドバイザー』の試験に合格したことである。消費生活アドバイザーのテキストを見た時、とても合格できるとは思えないほどの内容で、気が遠くなった記憶がある。

しかし、毎日勉強を続けることで合格できた。その時、『私もまだまだやればできる』とすごく自分に自信がついた。この成功体験が今回の資格試験に結びついていく。以前からなんとなく気になっていた資格だ。

使わなくなっていた娘の部屋を私の勉強部屋にし、お古の学習机に資格試験のテキストや過去問を並べた。文房具店にも久々に通い筆記用具やノートを新調したりして学生気分だ。ワクワクして楽しい。

資格試験の最初の年、テキストにざっと目を通し、過去問をざつとやって試験に挑んだ。結果は不合格。当たり前である。そんなに甘い資格ではない。それからは『ざっとではダメだ、しっかりやらなければ』と思い、真剣に取り組むようになった。どのように勉強すればいいのかとネットで検索すると、資格試験受験者に向けた講座動画がたくさんアップされている。しかも、無料で見ることができる。

また、SNSで勉強専用アカウントを作り、同じ資格試験を受験する仲間とつながって、情報交換も始めた。勉強方法や、どこのテキストが良いとか情報をやり取りしている。何回も受験をしていると、その度に新しいフォロワーが増えしていく。それぞれ勉強した内容や時間を投稿し合い、自分も頑張らねばと思わせてくれる。

一方で、不合格となった後、自分の気持ちと向き合う作業が大変である。悔しい気持ち、恥ずかしい気持ち、情けない気持ち、また頑張ればいいという気持ちが入り混じって落ち込むのである。

時間が経てば気持ちも落ち着いて、また頑張ろうという気持ちになるのだが、そこに至るまでが苦しい。こんな気持ちになるのならもうやめようかと思う。これからの一周年、また何時間も勉強に費やしていくことを考えると気持ちが萎えてしまうのである。

さて、あきらめモードの私だが、新しいテキストも販売開始され、講座動画もアップされ始めている。SNSの仲間たちからもエールが届いているし、もう勉強を開始している人もいる。また頑張ってみようかなと少しづつ思い始めている。

頑張れ・・・私！ 次はきっと『合格』。

（次号のペンリレーは、坂口真理さんにバトンをお渡しいたします。）

ペ
ン
リ
レ
ー



INFORMATION

イベントのごあんない

【鹿児島開催 市民向け標準化セミナー】

九州支部主催で、一般市民向け標準化セミナーを開催します。
『標準化』と聞くと企業が取組む内容と思われがちですが、安心・
安全の為には、消費者の視点から標準化を進めることも重要です。
今回は、そのきっかけにして頂けるセミナーを鹿児島で開催します。

※鹿児島、宮崎、熊本分科会からファシリテーター募集中!!

【日時】2025年1月18日(土) 13:00~15:30 対面開催

【場所】かごしま国際交流センター 研修室2

【内容】 第1部「アイスブレイクの技法(棟居秀信)/くらしの中の標準化(明知孝)」

第2部 ワークショップ(標準化のタネのアイデア出し)

ファシリテーター(藤崎達也・松山陽子他)

【定員】20名 【参加費】無料(経済産業省委託事業)

【申込】右記グーグルフォーム(右のQRコード)より

【締切】2025年1月10日(金)

【問合せ】kyushu-kenshu@nacs.or.jp



消費者視点で

「標準化」を考える



研修会のごあんない

【新会員歓迎×合格者祝 ×会員交流会】

九州支部法律研修会×新合格 祝 新入会歓迎×会員交流会 「知っておきたい相続のABC」2/15 Bizcoli

【日時】2月15日(土) 11:00~12:30 ★講座終了後、昼食交流会予定です★

【場所】電気ビル共創館3階 Bizcoli 地下鉄七隈線「渡辺通駅」直結

【講師】平林敬語弁護士

【申込期限】2月11日(火)

【定員】対面20名 先着順

【申込】右のQRコードからお申込み下さい

【問合せ】kyushu-kenshu@nacs.or.jp



九州支部公開講座 「溢れるニセ科学情報にだまされるな! 消費者が身につけたい サイエンス・リテラシー<2>」 2/28 Zoom完全オンライン ★大好評セミナー続編★

【日時】2月28日(土) 19:30~21:30 ZOOM完全オンライン

【講師】金沢星稜大学講師 山本輝太郎先生

【申込期限】2月23日(日)

【定員】130名 先着順

【申込】1月15日に配信予定の本部しくみネット、または右のQRコードから

【問合せ】kyushu-kenshu@nacs.or.jp



INFORMATION

分科会だより&代表からのメッセージ

【鹿児島分科会】 代表：明 知孝

南さつま市役所で消費者行政を担当して9年目になります。昨年度は鹿児島市で標準化セミナーを、そして、弁護士を講師とする法務研修会をオンラインで開催しました。オンラインを上手く活用しながら、会員の皆様にとって有意義な活動を企画していきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【宮崎分科会】 代表：山本 祥子

今年度は、5月と11月に「ダーニングの会」を開催しました。ダーニングとは、穴やシミのある衣類を修繕する技法の一つで、衣類の長寿命化とアップサイクルを図ることができます。また7月には、昨年度に引き続き「まち歩き(日向市美々津町)」を行いました。分科会の活動人数は6名で、全員がそういうことは中々難しいのですが、これからも楽しく有意義な活動が出来ればと思います。

【大分分科会】 代表：山村 克己

大分分科会では、分科会に登録頂いている会員が少なく参画して頂ける方を大募集しています。大分県内の消費生活アドバイザーの皆さん、よろしくお願ひします！

【熊本分科会】 代表：宮園 由紀代

熊本分科会は、以前は会員も若くエネルギーがあり、自主研究会などの活動も行っておりました。しかし、会員の高齢化が進んだせいか、それぞれの会員の活動フィールドが多様になり、分科会単独での活動は難しくなりました。熊本でもNACS未加入の有資格者はたくさんおられます。そうした方々にNACSの活動への興味をもっていただき、面白い活動につなげていくことが課題です。どうぞよろしくお願ひいたします。

【長崎分科会】 長崎分科会一同

長崎在住の会員が少なく、独自の活動は難しい状況ですが、NACS本部の講座、九州支部の研修会などに参加し、ブラッシュアップしております。一緒に活動して下さる仲間をお待ちしております。

【佐賀分科会】 代表：橋本 裕美子

佐賀分科会は、交流会や研修会等を通して会員同士の交流、消費者力の向上を図っています。分科会の会員の方等を講師に迎えた研修会では、わかりやすいお話でテーマへの興味や関心が高まります。交流会は、楽しいお話の中から消費者の視点で様々な話題が広がり、勉強になります。今年度は2月9日(日)の午前中に開催予定です。楽しみにしています。

【沖縄分科会】 代表：田港 華子

2021年度の消費生活アドバイザー合格をご縁に現在消費生活センターの相談員として研鑽中です。並行して企業団体等の窓口対応や、学生・留学生向け研修講師としても活動中です。このたび沖縄分科会代表を恐れながらお引き受けいたしました。先輩方に相談させていただきながら、お役立てできるよう取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願ひします。

【編集後記】

編集担当：田口賀徳（福岡県）

毎年、晚秋になると秋月城址に“紅葉狩り”にドライブに行き、古民家を改装した人里離れたお店で蕎麦を堪能して秋の週末を満喫するのを楽しみにしている。今年も11月中旬～下旬に出かけたのだが、人通りは例年通りながら、例年より紅葉のペースが速い…？ どうやら、完全に見頃を過ぎていた。今年は暖冬だったはずなのにおかしいな…と思い、近づいてよく見ると、茜色になり始めた頃に枯れ始めてしまったよう。近年の急速な温暖化の進展で、一枚の紅葉の葉で、秋が短くなった日本の四季を表しているように思えた。食欲の秋…は、困ったことに冬になってしまふ哀え知らずなのだが。

※トライアングル No.146の掲載内容に関するお問合せは編集担当 田口までお願ひします。
ご意見、ご感想などもお待ちしています！  ⇒ taguchi.kogacity@gmail.com

